



合志ブランドに新たに認証された芝生と、桑を使った紅茶とジャム＝合志市

桑の実ジャムと紅茶、芝生 合志ブランド3品追加

合志市の特産品づくりを進める地域ブランド推進協議会（会長・藤井勝公副市長）は3日、桑を使った紅茶とジャム、芝生の3品を新たに認証した。合志ブランドの認証品は31品になった。

桑の2品で認証を受けたのは野々島の峯樹木園。桑の葉紅茶にはカルシウムや鉄分、桑の実ジャムにはアントシアニンが含まれると

いう。峯隆吉社長（69）は「桑の機能性に注目している。耕作放棄地を桑園にして地域活性化したい」と話した。芝生は、豊岡の農業生産法人ピースグリーンが東海大農学部と共同育成した「ドリームグラス」という品種。

葉色が美しく、根が頑丈という。鈴木憲治社長（54）は「河川の築堤や公園への利用を目指したい」と意気込んで

いる。認証制度は2010年にスタート。市内で生産され、品質と価格が見合えば、生産履歴が確かな産品かどうか

などを審査する。同日は、市合志庁舎で藤井会長が両社長に認証書を手渡した。

（宮崎あずさ）